

2023年11月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2023年4月7日

上場会社名 大阪有機化学工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4187 URL <https://www.ooc.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 安藤 昌幸
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部長 (氏名) 本田 宗一 (TEL) (06)6264-5071
 四半期報告書提出予定日 2023年4月7日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年11月期第1四半期の連結業績(2022年12月1日～2023年2月28日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年11月期第1四半期	6,870	△15.4	1,005	△39.6	1,040	△40.0	726	△40.0
2022年11月期第1四半期	8,125	—	1,665	8.7	1,733	3.7	1,211	3.8

(注) 包括利益 2023年11月期第1四半期 935百万円(△21.3%) 2022年11月期第1四半期 1,188百万円(△5.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年11月期第1四半期	33.71	—
2022年11月期第1四半期	54.97	—

(注) 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を前第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、2022年11月期第1四半期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっており、売上高の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年11月期第1四半期	52,168	41,729	78.9
2022年11月期	52,836	41,394	77.3

(参考) 自己資本 2023年11月期第1四半期 41,153百万円 2022年11月期 40,826百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年11月期	—	27.00	—	27.00	54.00
2023年11月期	—	—	—	—	—
2023年11月期(予想)	—	28.00	—	28.00	56.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年11月期の連結業績予想(2022年12月1日～2023年11月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	13,900	△13.9	2,000	△39.8	2,100	△40.5	1,400	△42.8	64.93
通期	29,000	△10.0	3,800	△36.0	4,000	△37.2	2,800	△40.8	129.85

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、四半期決算短信 (添付資料) 8 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更)」をご参照ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2023年11月期 1 Q	22,410,038株	2022年11月期	22,410,038株
② 期末自己株式数	2023年11月期 1 Q	847,478株	2022年11月期	847,478株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2023年11月期 1 Q	21,562,560株	2022年11月期 1 Q	22,045,471株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、現時点で得られた情報に基づいて算定しておりますが、多分に不確実な要素を含んでおります。従いまして、実際の業績は、業況の変化などにより業績予想と異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項については、四半期決算短信 (添付資料) 3 ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、資源高の影響などを受けつつも、新型コロナウイルス感染症抑制と経済活動の両立が進むもとの、持ち直しております。しかしながら、ウクライナ侵攻の長期化により、エネルギーや穀物価格の高騰が続くとともに、世界的な金融引き締めに伴う景気の下振れリスクが高まり、依然として先行きが不透明な状況となっております。

このような状況の下で当社グループは、2020年11月期よりスタートした、長期経営計画「Next Stage 10」の後半となる、第2次5ヶ年中期経営計画を推進し、各種施策に取り組んでおります。化成品事業におきましては、選択と集中による製品の更新代謝を図り、採算性の向上に努めるとともに、グローバルに市場が拡大するUVインクジェットプリンター向け特殊インク用原料やバイオマス由来などの環境に配慮した製品の拡販に注力いたしました。電子材料事業におきましては、次世代半導体材料開発の強化によるトップシェアの確保及び新規ディスプレイ材料の拡販に努めてまいりました。機能化学品事業におきましては、機能性ポリマーの開発を促進するとともに、化粧品原料や高純度特殊溶剤の拡販に取り組んでまいりました。しかしながら、ディスプレイや半導体などの電子材料用途を中心に需要の低迷の影響を大きく受けております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は68億7千万円（前年同四半期比15.4%減）、営業利益は10億5百万円（前年同四半期比39.6%減）、経常利益は10億4千万円（前年同四半期比40.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は7億2千6百万円（前年同四半期比40.0%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。（セグメント間取引を含んでおりません。）

①化成品事業

化成品事業におきましては、アクリル酸エステルグループは、自動車用塗料向けの販売が堅調に推移いたしました。ディスプレイ用粘着剤向けやUVインクジェット用インク向けの販売が低迷いたしました。メタクリル酸エステルグループは、販売が大幅に減少いたしました。この結果、売上高は21億1千7百万円（前年同四半期比25.4%減）、セグメント利益は1億3千4百万円（前年同四半期比47.9%減）となりました。

②電子材料事業

電子材料事業におきましては、半導体材料グループは、主力であるArFレジスト用原料の販売が末端市場の需要が軟調となり横ばいで推移いたしました。表示材料グループは、ディスプレイの需要の低迷により販売が低調に推移いたしました。この結果、売上高は32億3千8百万円（前年同四半期比16.3%減）、セグメント利益は5億8千1百万円（前年同四半期比46.3%減）となりました。

③機能化学品事業

機能化学品事業におきましては、化粧品原料グループは、販売が海外で好調に推移いたしました。機能材料グループは、受託品の販売が低調に推移いたしました。子会社の高純度特殊溶剤の販売は堅調に推移いたしました。この結果、売上高は15億1千4百万円（前年同四半期比7.0%増）、セグメント利益は3億1百万円（前年同四半期比7.1%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比べて6億6千8百万円減少し、521億6千8百万円となりました。これは、主に現金及び預金の減少13億7百万円、受取手形、売掛金及び契約資産の減少10億6千1百万円、製品の増加4億8千8百万円、仕掛品の増加2億7百万円、原材料及び貯蔵品の増加2億6千6百万円、建設仮勘定の増加4億8千9百万円及び投資有価証券の増加3億3千6百万円などによるものです。

当第1四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末と比べて10億3百万円減少し、104億3千8百万円となりました。これは、主に支払手形及び買掛金の減少3億4千8百万円、未払金の増加4億5千万円、未払法人税等の減少6億5千4百万円及び長期借入金の減少4億4千3百万円などによるものです。

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末と比べて3億3千5百万円増加し、417億2千9百万円となりました。これは、主に利益剰余金の増加1億4千4百万円及びその他有価証券評価差額金の増加1億7千1百万円などによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年1月12日に公表いたしました連結業績予想を修正いたしました。なお、修正内容の詳細につきましては、本日（2023年4月7日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年11月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,094,541	6,787,258
受取手形、売掛金及び契約資産	9,824,100	8,762,778
電子記録債権	357,804	460,537
製品	4,625,496	5,114,351
仕掛品	1,985,897	2,193,001
原材料及び貯蔵品	2,437,106	2,703,128
その他	772,651	725,178
貸倒引当金	△15,329	△14,431
流動資産合計	28,082,267	26,731,802
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,169,635	7,187,830
機械装置及び運搬具（純額）	3,873,567	3,733,389
土地	2,173,661	2,173,661
建設仮勘定	4,785,912	5,275,089
その他（純額）	468,053	446,167
有形固定資産合計	18,470,830	18,816,138
無形固定資産		
のれん	63,333	58,333
その他	53,358	47,797
無形固定資産合計	116,692	106,130
投資その他の資産		
投資有価証券	5,619,707	5,956,321
退職給付に係る資産	353,157	359,700
繰延税金資産	420	14,321
その他	193,660	183,974
投資その他の資産合計	6,166,945	6,514,318
固定資産合計	24,754,468	25,436,587
資産合計	52,836,735	52,168,390

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年11月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年2月28日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,522,059	4,173,350
1年内償還予定の社債	25,000	25,000
1年内返済予定の長期借入金	1,795,832	1,790,872
未払金	1,066,907	1,517,534
未払法人税等	1,036,437	381,494
賞与引当金	—	250,771
役員賞与引当金	34,715	5,666
その他	688,717	454,480
流動負債合計	9,169,669	8,599,168
固定負債		
社債	25,000	25,000
長期借入金	1,736,327	1,292,329
役員株式給付引当金	10,591	10,951
繰延税金負債	410,366	422,139
その他	90,405	89,038
固定負債合計	2,272,690	1,839,458
負債合計	11,442,359	10,438,627
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,600,295	3,600,295
資本剰余金	3,513,544	3,513,544
利益剰余金	33,861,607	34,006,259
自己株式	△2,123,303	△2,123,303
株主資本合計	38,852,143	38,996,795
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,913,210	2,084,673
為替換算調整勘定	78,564	84,310
退職給付に係る調整累計額	△17,619	△11,945
その他の包括利益累計額合計	1,974,155	2,157,038
非支配株主持分	568,076	575,928
純資産合計	41,394,375	41,729,763
負債純資産合計	52,836,735	52,168,390

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年12月1日 至 2022年2月28日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年12月1日 至 2023年2月28日)
売上高	8,125,764	6,870,471
売上原価	5,381,754	4,802,990
売上総利益	2,744,009	2,067,481
販売費及び一般管理費	1,078,194	1,061,997
営業利益	1,665,814	1,005,483
営業外収益		
受取利息	285	485
受取配当金	40,122	44,247
為替差益	9,033	—
保険解約返戻金	23,049	—
その他	6,103	6,559
営業外収益合計	78,594	51,292
営業外費用		
支払利息	1,859	1,478
自己株式取得費用	6,753	—
為替差損	—	13,070
その他	1,853	1,966
営業外費用合計	10,466	16,516
経常利益	1,733,942	1,040,259
特別損失		
固定資産除却損	831	676
特別損失合計	831	676
税金等調整前四半期純利益	1,733,111	1,039,582
法人税、住民税及び事業税	636,003	368,518
法人税等調整額	△135,825	△80,366
法人税等合計	500,178	288,152
四半期純利益	1,232,932	751,429
非支配株主に帰属する四半期純利益	21,176	24,588
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,211,756	726,841

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年12月1日 至 2022年2月28日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年12月1日 至 2023年2月28日)
四半期純利益	1,232,932	751,429
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△65,084	172,887
為替換算調整勘定	12,497	5,746
退職給付に係る調整額	8,383	5,800
その他の包括利益合計	△44,204	184,434
四半期包括利益	1,188,728	935,864
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,166,055	909,724
非支配株主に係る四半期包括利益	22,672	26,139

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I. 前第1四半期連結累計期間(自 2021年12月1日 至 2022年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	化成品 事業	電子材料 事業	機能化学品 事業	計		
売上高						
日本	1,897,772	3,363,785	1,171,463	6,433,022	—	6,433,022
アジア・豪州	687,586	496,944	196,649	1,381,180	—	1,381,180
米州	157,063	10,270	35,449	202,783	—	202,783
欧州	96,589	—	12,187	108,777	—	108,777
顧客との契約から生じる収益	2,839,012	3,871,000	1,415,751	8,125,764	—	8,125,764
その他の収益	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	2,839,012	3,871,000	1,415,751	8,125,764	—	8,125,764
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	116,218	116,218	△116,218	—
計	2,839,012	3,871,000	1,531,969	8,241,982	△116,218	8,125,764
セグメント利益	259,248	1,081,085	324,475	1,664,809	1,005	1,665,814

(注) 1 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ. 当第1四半期連結累計期間(自 2022年12月1日 至 2023年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	化成品 事業	電子材料 事業	機能化学品 事業	計		
売上高						
日本	1,472,373	2,857,157	1,249,580	5,579,112	—	5,579,112
アジア・豪州	466,415	346,338	224,921	1,037,674	—	1,037,674
米州	95,844	34,572	40,226	170,642	—	170,642
欧州	82,981	60	—	83,041	—	83,041
顧客との契約から生じる収益	2,117,615	3,238,128	1,514,727	6,870,471	—	6,870,471
その他の収益	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	2,117,615	3,238,128	1,514,727	6,870,471	—	6,870,471
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	126,419	126,419	△126,419	—
計	2,117,615	3,238,128	1,641,147	6,996,891	△126,419	6,870,471
セグメント利益	134,944	581,060	301,447	1,017,453	△11,969	1,005,483

(注) 1 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

(自己株式の取得)

当社は、2023年4月7日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式取得に係る事項について決議いたしました。

1. 自己株式の取得を行う理由

資本効率を高めることを通じて企業価値の向上を図るためであります。

2. 取得の内容

- (1) 取得対象株式の種類 普通株式
- (2) 取得する株式の総数 300,000株(上限)
(発行済株式総数に対する割合 1.34%)
- (3) 株式の取得価額の総額 600百万円(上限)
- (4) 取得期間 2023年4月10日 ～ 2023年6月30日
- (5) 取得の方法 東京証券取引所における市場買付け。

(注) 市場動向等により、一部又は全部の取得が行われない可能性があります。